

# **東海国立大学機構インフラ長寿命化計画**

## **(個別施設計画)**

2024年 3月

(2025年12月 改定)





## 個別施設計画

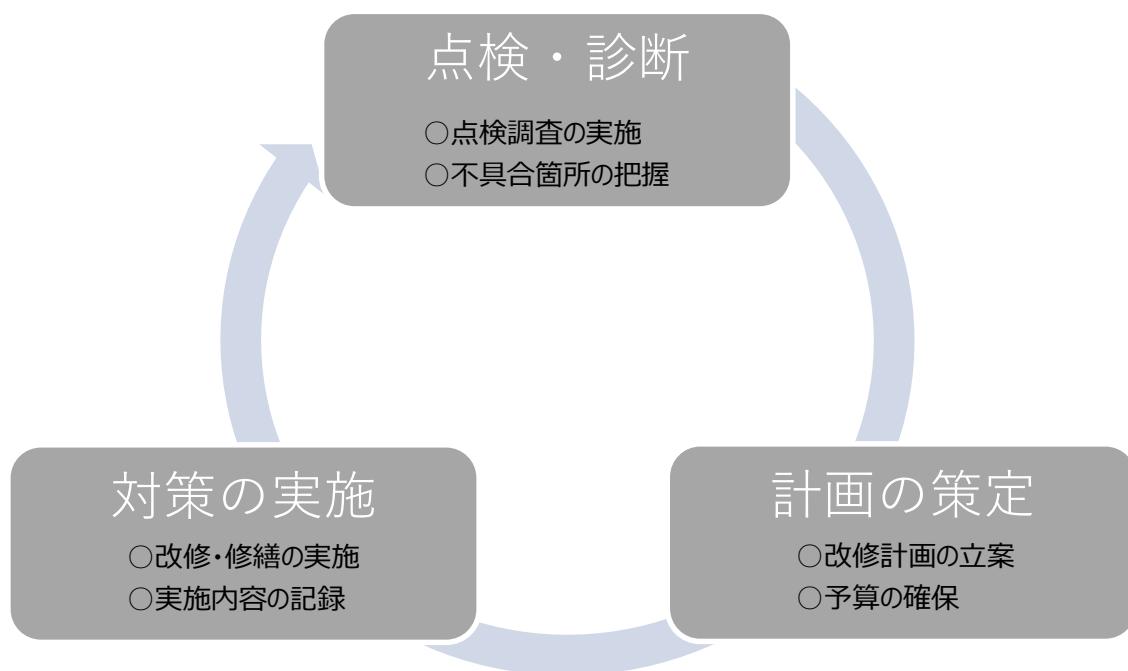
<b>1. 個別施設計画の方針</b>	<b>1</b>
(1) 改修等の基本的な方針	1
(2) 改修等の仕様水準	2
<b>2. アクションプランの作成方針</b>	<b>3</b>
(1) 基本事項	3
(2) 対象範囲	3
(3) 計画期間	3
(4) 優先順位の考え方	3
<b>3. 長寿命化計画の継続的運用方針</b>	<b>4</b>
(1) 情報基盤の活用	4
(2) 施設のトリアージ	4
(3) フォローアップ	4
<b>4. アクションプラン</b>	<b>5</b>

# 1. 個別施設計画の方針

## 1. 個別施設計画の方針

### (1) 改修等の基本的な方針

- 「東海国立大学機構インフラ長寿命化計画（行動計画）」の中で、施設は適切な維持管理を行うことで 80 年～100 年程度使用していくこととしており、その間で大規模改修や中規模改修を適切な時期に実施する事により施設設備の長寿命化を図る。
- 中規模改修においては、昨今の人件費や物価上昇による建設コストの高騰、教育研究活動の進展に伴う保有面積の増加により、施設の維持管理に係る予算が不足していることを考慮し、施設老朽状況調査により緊急性を考慮した計画を策定する。
- なお、劣化が著しく構造体の耐久性が確保できない施設や、小規模施設等で集約化した方がコストの縮減が可能な施設、機能上の問題が著しく新たな教育研究ニーズへの対応が困難な施設については、目標使用年数を待たずに改築や減築について実施することができる。



< 図表 1.1 メンテナンスサイクル >

# 1. 個別施設計画の方針

## (2) 改修等の仕様水準

- 改修等の実施にあたり、「東海国立大学機構施設整備設計標準」等に基づき、今後の改修における仕様水準を“建物の部位ごと”に取り決め、仕様水準の統一を図る。

### 建築

部 位		長寿命化 + 省エネ対策	現状レベル
外 部	屋上防水	合成高分子系（塩化ビニル樹脂系）ルーフィングシート防水、 または ウレタンゴム系塗膜防水 + 遮熱塗装	アスファルト防水、 または シート防水
	外壁	耐久性のある仕上げ塗装（複層仕上塗材 E 等）、 または タイル仕上げ	吹付仕上、または タイル仕上げ
	外部建具	アルミニウム製、Low-E ガラス	アルミニウム製
	断熱	屋上および外壁、内断熱、厚さ 25mm	断熱なし
内 部	内装	内装全面撤去・更新、または床・壁のみ改修	既設のまま

### 電気設備

部 位		長寿命化 + 省エネ対策	現状レベル
電 気 設 備	照明設備	LED 照明	Hf 照明
	計測	電力計測可能	計測なし

### 機械設備

部 位		長寿命化 + 省エネ対策	現状レベル
機 械 設 備	空調設備	EHP 個別式・マルチ式  GHP 個別式・マルチ式	中央式
	衛生設備	節水型・洋式・ドライ化	和式（ウェット化）
	計測	ガス・水計測可能	計測なし

< 図表 1.2 整備水準 >

## 2. アクションプランの作成方針

### 2. アクションプランの作成方針

#### (1) 基本事項

- 老朽化状況の実態や教育研究活動への影響、緊急性等を踏まえ、優先順位を反映したアクションプラン（大規模改修計画、中規模改修計画（緊急修繕計画））を策定する。
- アクションプランの具体な計画内容については、東海国立大学機構施設マネジメント統括本部会議の議を経て、定めるものとする。

#### (2) 対象範囲

- 機構が保有するキャンパス内の建築物（附帯設備を含む。）および基幹・環境施設（基幹設備および屋外環境）を対象とする。
- 附属病院施設や宿舎施設、倉庫、車庫、収納庫に類するもの、温室や飼育施設に類するもの、その他小規模施設（200 m<sup>2</sup>未満の施設）は、病院運営計画や宿舎運営計画等において、別途考慮するものとする。

#### (3) 計画期間

- 計画期間は3年間とする。

#### (4) 優先順位の考え方

- 大規模改修計画では、建物経年劣化だけを優先とするのではなく機構及び両大学の戦略、国の施策等を勘案して事業を選定する。
- 中規模改修計画における優先順位付けは、施設老朽状況調査を実施し、緊急度・重要度を「A+」～「C」の4段階で評価を行うこととし、その結果を考慮して事業を選定する。

< 図表2 優先順位のイメージ>

評価	A+	A	B	C
	緊急的な問題あり	現状で問題が顕在化	数年で問題が顕在化する見込み	この数年では大きな支障が生じない見込み
評価項目 優先度	緊急的に対応が必要	早急に対応が必要	左記対象が終了後対応	当面の間、実施する必要がない
① 安全安心面の状況	← 構成員に身体面、健康面で危害が及ぶ可能性 重大な事故につながる危険性 →			
② 教育研究活動への影響	← 教育研究活動が停滞する危険性 → <b>高</b> ← → <b>低</b>			
③ 建物の寿命に与える影響	← 建物の躯体の寿命への影響 →			
④ 建物・建物設備の老朽化	← 建物・建物設備の老朽度 →			
事例	<b>安全</b> タイル面のはらみ 通路上の外壁落下で歩行者に危害が及ぶ	<b>安全</b> 20年以上のタイル面の浮き 打診調査によりタイル面の浮きを確認	<b>寿命</b> 仕上げ材が剥離しているが、漏水はない	<b>寿命</b> 仕上げ材が剥離しているが、影響は軽微
	<b>活動</b> 機器の劣化損傷により室内温度が保てない	<b>寿命</b> 防水層の劣化により雨漏れが頻発	<b>老朽</b> 空調機が故障し、部品交換で対応	<b>老朽</b> 耐用年数を経過しているが機能劣化がない

### 3. 長寿命化計画の継続的運用方針

#### 3. 長寿命化計画の継続的運用方針

##### (1) 情報基盤の活用

- 施設の点検・評価等により、建物情報一覧や施設老朽状況調査に基づく評価結果等を反映し、現状を踏まえた優先順位を反映した整備計画を運用する。また、日常の保全業務における業務報告書、および緊急修繕対応データから施設情報を蓄積し、建物部位別の経年劣化状況、疲労による影響等の履歴分析等を行い、継続的・中長期的な施設整備を図る。

##### (2) 施設のトリアージ

- 当該計画の運用に際し、施設の用途、規模、教育・研究への影響および大学戦略を踏まえ、長寿命化を行わない施設を設定する“施設のトリアージ”に取り組む。トリアージの考え方は、①長期的に維持していく施設と将来的に集約・減築する施設の峻別による“保有面積の最適化”、②修繕等の性能維持に限定し、中規模改修の対象施設（面積）を減らす“予算内の効果的・効率的な整備”とする。

##### (3) フォローアップ<sup>¶</sup>

- 今後の施設整備において、施設の老朽化だけでなく、教育研究支援または地方公共団体や民間企業との連携も視野に入れ、必要に応じて追加的対策等を検討しながら全学体制において、長寿命化に供する施設マネジメントに取り組む。
- 取り組みの進捗状況を定期的に把握し、課題等の整理や解決に努めるとともに、必要に応じて本個別施設計画の見直しを図る。

## 4. アクションプラン

### 4. アクションプラン

#### ■大規模改修計画 ※対象期間は令和6～8年度

< 図表 4.1 大規模改修計画(岐阜大学) >

【補助金事業】

団地名	建物名称等		建設年	経年
柳戸	教育学部校舎 A 棟東	2,050 m <sup>2</sup>	1983 年	40 年
柳戸	教育学部校舎 A 棟中	4,790 m <sup>2</sup>	1983 年	40 年
柳戸	教育学部校舎 A 棟西	2,360 m <sup>2</sup>	1983 年	40 年
柳戸	地域科学部・共通教育棟 A 棟西	2,030 m <sup>2</sup>	1983 年	40 年
柳戸	地域科学部・共通教育棟 D・E 棟 (講義棟)	1,050 m <sup>2</sup>	1983 年	40 年
柳戸	地域科学部・共通教育棟 B 棟 (講義棟)	1,910 m <sup>2</sup>	1983 年	40 年

※上記事業の実施においては ZEB Ready 以上を省エネ・創エネ基準の達成を目指す。

< 図表 4.2 大規模改修計画(名古屋大学) >

【補助金事業】

団地名	建物名称等		建設年	経年
東山	学生会館	1,737 m <sup>2</sup>	1962 年	61 年
東郷	研究棟	1,292 m <sup>2</sup>	1972 年	51 年
東山	総合保健体育センター	1,021 m <sup>2</sup>	1976 年	47 年
東山	工学部 9 号館	4,611 m <sup>2</sup>	1980 年	43 年
東山	工学部 8 号館北棟	1,906 m <sup>2</sup>	1987 年	36 年
東山	屋内運動場	2,123 m <sup>2</sup>	1988 年	35 年
東山	先端技術共同研究施設	2,034 m <sup>2</sup>	1990 年	33 年
東山	航空・機械実験棟	3,723 m <sup>2</sup>	1993 年	30 年
東山	水理実験棟	1,058 m <sup>2</sup>	1993 年	30 年

※上記事業の実施においては ZEB Ready 以上を省エネ・創エネ基準の達成を目指す。

## 4. アクションプラン

### ■中規模改修計画（緊急修繕計画）※対象期間は令和6～8年度

< 図表 4.3 中規模改修計画(岐阜大学) > ※省エネ改修計画を含む  
【自己財源等】

団地名	建物・部位	評価判定		
柳戸	畜産・農産製造室	防水	A+	教育研究活動
柳戸	医学部生命科学棟	外壁	A+	安全・安心
柳戸	黒野寮 E 棟	照明	A+	安全・安心
柳戸	図書館	照明	A+	安全・安心
柳戸	解剖棟	照明	A+	安全・安心
柳戸	第2食堂	空調	A+	安全・安心
柳戸	大学会館	空調	A+	安全・安心
柳戸	地域科学部・共通教育棟 (D 棟)	空調	A+	教育研究活動
柳戸	地域科学部・共通教育棟 (E 棟)	空調	A+	教育研究活動
柳戸	医学部本館 (Ⅰ期)	空調	A+	教育研究活動
柳戸	医学部本館 (Ⅱ期)	空調	A+	教育研究活動
柳戸	総合研究棟 I	空調	A+	教育研究活動
柳戸	動物病院管理棟	空調	A+	教育研究活動
柳戸	医学部教育・福利棟	空調	A+	教育研究活動
加納	北校舎	外壁	A	安全・安心
柳戸	図書館	外壁	A	安全・安心
柳戸	流域圏科学研究センター	外壁	A	安全・安心
柳戸	医学図書館	外壁	A	安全・安心
柳戸	中央機械室	受変電	A	教育研究活動
柳戸	廃水処理施設	受変電	A	教育研究活動
柳戸	本部棟	受変電	A	教育研究活動

< 図表 4.4 中規模改修計画(名古屋大学) > ※省エネ改修計画を含む  
【自己財源等】

団地名	建物・部位	評価判定		
東山	文学部本館	外壁	A+	安全・安心
東山	理学部 A 館	外壁	A+	安全・安心
東山	農学部講義棟	外壁	A+	建物寿命
東郷	研究棟	外壁	A+	安全・安心
東山	農学部講義棟	防水	A+	建物寿命
東山	全学教育棟	防水	A+	建物寿命
東山	I B 電子情報館 (北棟除く)	空調	A+	教育研究活動
東山	法経本館・共用館	空調	A+	教育研究活動

## 4. アクションプラン

団地名	建物・部位		評価判定
東山	研究所共同館Ⅰ	空調	A+
東山	理学館・理農館（理学館）	空調	A+
鶴舞	基礎研究棟	空調	A+
東山	情報学研究科棟	昇降機	A+
東山	極低温実験室	照明	A+
東山	研究・実験室	照明	A+
東山	強放射能特別実験棟	照明	A+
東山	特別実験棟	照明	A+
東山	環境医学研究所南館	照明	A+
東山	超低温物理実験室	照明	A+
東山	天然放射能測定室	照明	A+
東山	音楽練習室	照明	A+
東山	環境共用館分館	照明	A+
鶴舞	鶴友会館	照明	A+
鶴舞	福利施設	照明	A+
大幸	研究棟	照明	A+
大幸	エネルギーセンター	照明	A+
大幸	厚生会館	照明	A+
東山	その他小規模施設	照明	A+
東山	法経本館・共用館	外壁	A
東山	工学部3号館	外壁	A
東山	動物飼育・心理実験室	外壁	A
東山	音楽練習共用施設	外壁	A
東山	環境共用館	外壁	A
東山	工学部5号館	外壁	A
東山	農学部A館（西）	外壁	A
東山	農学部A館（東）	外壁	A
東山	アメニティハウス	外壁	A
東山	広報プラザ	外壁	A
東山	グリーンサロン東山	外壁	A
東山	赤崎記念研究館	外壁	A
東山	生物機能開発利用研究センター	外壁	A
東山	I B電子情報館	外壁	A
鶴舞	鶴友会館	外壁	A

- 
- 令和6年 3月 1日 岐阜大学施設マネジメント推進室会議 承認
  - 令和6年 3月 8日 名古屋大学キャンパスマネジメント推進本部会議 承認
  - 令和6年 3月18日 東海国立大学機構施設マネジメント統括本部会議 承認
  - 令和6年 3月18日 岐阜大学運営会議・名古屋大学運営会議 承認
  - 令和6年 3月27日 東海国立大学機構役員会 承認
  - 令和7年 12月10日 東海国立大学機構施設マネジメント統括本部会議 承認（改定）
  - 令和7年 12月17日 東海国立大学機構役員会 承認（改定）